

栄八通信

武雄市議会だより

Web版
始めました

http://ei-8.info/

第68号

H29年1④710月発行



武雄市議会議員
宮本栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

H29年度予算 249億円(学校)→新庁舎へ

H28年度予算の251億円と、ほぼ同額だが、これから年々減少する分岐点とも思われる。支出の中身については、武雄小・中学校の改築が終了して減った分、市役所の新庁舎の建設費やこども図書館の建設費に置き替わっている。道路関係では、新武雄病院東の小楠・永島線(今、橋を工事中)や、佐銀西の西浦通りや、武雄温泉駅の南北の道路整備に億単位の予算が付けられている。

小児急患受け入れ

365日「午後7時～9時」まで

小児の時間外の急患の対応は、月・木・金・土・日の5日間は、武雄の医師会センターで、午後の7時から9時まで受け入れていた。火・水は、鹿島市内の輪番病院や、子どもセンターに行かなければならなかった。それは、県南部医療圏の自治体で費用を負担している為。

ただ、今回、火・水も武雄で同開設をしたため、これまでの県南部での365日から、武雄市内での365日、午後7～9時の3時間の時間外受け入れができるようになる。南部全体での費用は、664万円だが、受益の多い武雄市は、396万円を負担する。



365日対応する
武雄杵島地区医師会検診センター

ごみ袋手数料料金反対した 県内一の45と50円に 特別収集

本丸は1億円

前回の通信で、私は、建設委員会で、他市並の1と1円程度の値上げの話だったので、35と、現在の30円が35円に上がるものと思いい、県内他市と同一程度の料金なら、市民の理解もあると判断。しかし、正式の提案を見ると、35とが40円と、消費税10%でも延期になるのに、いきなり、25%アップで、県内一にする事には納得がいかなかった。

いる所は、武雄市だけで廃止を提案するが、今後取り組むとの返答で、期待していた。しかし今議案と、同時に、週2回の特別収集の月額料金が、864円から900円に料金を上げる内容も提案されていた。ここで、月額36円値上げしても、特別収集の廃止どころか、さらなる制度存続となり、一般市民と関係のない1億円が支出され、まわりまわって、一般のごみ袋値上げの理由になるとして反対した。

【改革すべきは特別収集】
ゴミ処理費用を、根本的に考えるなら、伊万里市は人口約5万7千人で面積255km²で武雄市は人口約5万人で面積195km²と伊万里市が、大きい。ゴミ処理費は、1億7000万円と少なく、武雄市は、2億8000万円と、1億1千万円も多い。その理由を見ると、武雄市は、プラスチック容器の分別と、「特別収集」と言ってもスーパリー等のゴミを、たとえば月に12回収り行って、1,080円もらっている制度があり、これが、収入の何倍も費用がかかっているのが、1億円の増の主な原因と考えられる。県内でこれを行って

【ベットの死骸収集】
いぬ、ねこ等のベットは、自宅に埋めるか、ベット火葬以外は、ゴミと同じ一般廃棄物だが、基本受け入れはなかった。どちらにしても、明確な判断が必要と言ってきた。今回、ゴミと同じ扱いかいを前提に、2,000円で市が収集する条例。私は費用の面から本人に持参してもらうべきとの意見。

袋容量	市名	料金	1L当り
45L	武雄市	50円	1.11
	唐津	40円	0.89
	多久	40円	0.89
	嬉野	40円	0.89
40L	鳥栖	42円	0.93
	佐賀	40円	1.00
	小城	40円	1.00
35L	武雄市	40円	1.14
	鹿島	40円	1.14
30L	佐賀	30円	1.00
	神埼	30円	1.00
	伊万里	30円	1.00
20L	武雄市	22円	1.10
	唐津	20円	1.00
	嬉野	20円	1.00

国名	宿泊者
韓国	6,008
中国	948
台湾	944
香港	415
タイ	385

外国人宿泊状況 (H27)

【①45と50円袋作成費用等】
先にも述べたように、新大袋45とを7月より発売すると言いが、作成費の予算は2700万円と前年ほぼ同額で、また、現在の35と袋の、買いたたけも想定している対応できる話。

【②こども図書館の委託料】
ツタヤに、こども図書館の指定管理を委託する予算が、半年分で3千万円付いていた。年間では、6000万円となるが、単純に考えて、現図書館・歴史資料館の委託料が、1億1千万円。面積的に見て、現図書館は、37,000m²で、こども図書館は6900m²で1/5なのに、委託料金は半分程度で、明らかに割高である。

【③シンガポール事務所費】
H25年に、武雄市、燕三条市、南砺市、薩摩川内市、太刀洗町、鞍手町、宇田津町の7市町で、シンガポール事務所を立ち上げた。ただ、樋渡市長の発案のために人件費約700万円と、事務所費約400万円の合計1100万円を武雄市が負担し、運営費を、7市町144万円均等に集めていた。H26H27はこれで進んだが、H28年度は、1市2町が、費用対効果の観点から、脱退した。

【H29年度予算 反対の理由】
しかも、指定管理というのは、収入も管理側が取るしくみで、フードコート(食堂)の2業者の収入や、また、子ども図書館の開館時間が、夜9時までなのも、明確でなく、必要な人件費なども算定されていない現状では、年間6000万円の委託理由としては納得いく説明がなく賛成できぬ点。

類似市のゴミ処理費		
武雄市	50,000人 195 km ²	2億 8,000万円
伊万里市	57,000人 255 km ²	1億 7,000万円
鳥栖市	71,000人 71 km ²	1億 9,000万円

子どもの貧困対策 約20%と対策

市は、小中学生のアンケートなどから、19%が、養育に「困難度が高い世帯」とし公表した。近年は貧富の差が拡大している、母子家庭が経済的に大変であることも、感じられる今日。

市が、子どもへの連鎖を防ぐこと、市民の関心は、どんな対策を打つか？だが、具体的には、今年度は、北方の子育てセンターに保健師を1名、武雄小に指導員1名を置き、先生以外の目で、常時見て、学年や進学先にこだわらず伴走形支援を、モデル的に行う。

これらの心の支援も必要だが、私の考えはやはり、原因は経済なので、負担を減すために、無料の学習塾や金がためなら、食糧支援など、市が音頭をとって、企業や市民の協力を得て経済的に支援したが、効果が出やすいと思う。

ペーパー105台 業者の活用を望む

ソフトバンクより、人型ロボットのペーパーが、武雄市の学校に105台が、3年間貸し出される。私の受け売りとしては、武雄市のICT教育が進んでいるので、実験してもらいたいと思うので、貸し出されるかと思っていた。

実は、ソフトバンクの公募に市が応募した話。市立小中に4〜8台割り振り、6人に1台で利用する。心配は、多忙で心に余裕がないと言われる先生の負担に拍車をかけること。

もともと、はなまる学習(朝の時間)スマイル学習(タブレット)も業者を活用し、先生の負担はかけないとの説明だったが現実には先生には動かない。ペーパーも年に五時間程度なので心配ないとの説明も、やはり、業者を活用して十二分に利用したいと思う。



区画整理新道と「すり付け道路」

3月14日、ホワイトデーの時松原交差点に、正常信号機か運用開始した。あとは、区画整理地区内の新道を、無理やりと言うか急にと言うが、現道に変則的に継続する工事が進んでいる。

これを、「すり付け道路」とよんでいる。市民の方や若い議員さんから、この先の整備はどうするのかが質問がでることがある。

これは、20年前に区画整理を着手する時から、問題になっていた。ただ、高架の用地を生み出すには、区画整理や区画道整備は必須なのでやらざるを得ないが、その先は100年かけて進めるとの話で財政的に連続工事は無理の認識。

また、このすり付け道は、県道との連結が多く、柵藤土木事務所が行っている。これに関して言えば、松原交差点西側は、すり付け

ガン対策 ピロリ菌の検査拡大 40才以上にも実施を!

佐賀県は、中学3年生を対象にピロリ菌の検査を始めた。全国的にも、中学生への検査が広がっていると言われている。武雄市においても、前市長や小松市長も、ピロリ菌対策を打出されていた。胃ガンは、ガンの中で3番目に多く、日本人の場合、胃ガンの90%は、ピロリ菌感染が原因という。

武雄市では、「わっかもん検診」として、国保の加入者の、20才を対象に、基本検診の血液検査に追加してピロリ菌の検査を実施している。

H27年度、1975人の対象者のうち、検査を受けた人は307人で、陽性者63人で治療者32人。H28年度は、1815人中、176人受診で陽性48人治療者17人。

一方、ピロリ菌は、中高年世代が感染率が高く、約50%とも言われ、上下水道の整備後の2000

年代生まれは、10%未満と低くなっているらしい。そうならば、「わっかもん検診」より、むしろ、40才以上に拡大していくことが、市のかかっている、ガンの撲滅につながると思いい、今議会、ピロリ菌検査拡大を提案。

市の返答は、「40才以上は、胃ガン検診のバリウム検査を受けて下さい」との主旨の答弁。

しかし、それでは、ピロリ菌の陽性がどうかは、判別できないし胃ガン予防のためのピロリ菌除去もできないと思う。集団検診に追加検査では、1人当たり千円程度で、1回調べれば良いとの話なので、市での取り組みを要望する。

佐賀県流
中3の流れ
1次 尿検査
2次 便検査
↓
除菌薬
↓
呼吸検査(確認)

大野住宅建替 4世帯の3棟

昭和40年代の市営住宅の建替が急がれる中、やっと、山内町Aコープ前の大野住宅が着工される。

現住者は、久保田住宅に仮移転されていて、今後、旧住宅を解体して、新築され、年度内には再入居が完了するとの説明。

和田住宅(武雄町花島)78戸にくらべると、全12戸と小規模。当初、周辺と合う木造を検討

その後、鉄筋コンクリート4階建の方針が変って心配していた。その後、地元大野の方の要望で、今回の木造2階建になり良かった。

建設費用も、2億6556万円。市費は、わずか約600万円。ただ、心配なのは、駐車場が、一帯1.5台分しか用意されないこと、現代は夫婦共稼ぎで、車も2台は必要な社会。また宅急便の車や管理の公用車すら止められない。どうにか路上駐車防止を願う。

競輪場の公園と 第1駐車場の 両立を

新武雄競輪場の新駐車場は80台。今までの第1駐車場は、100台あり、現在、この2ヶ所を中心に、通常の本場、場外に対応する。

しかし、第1駐車場の所に公園を作るの計画だが、やっこの2ヶ所、路上駐車などがなくなると、周辺環境がすっきりした。

そこで、公園の位置を少し移動し、駐車場の確保を提案するが、あくまでも、第1駐車場を廃止して、公園を作るの答弁。

他の競輪場やサテライト、ポールの場外を見ても300台程度の臨接駐車場を確保している。公園も有って良いが本来の、お客があまり不便にならないような状況では、将来的な経営が心配される。競輪の黒字経営が公園の整備充実につながる。

「大字(おおあざ)」の 廃止を提案しました

武雄市の住所には、町名の後に大字を付けなければなりません。ただ、インターネットでの買い物など、住所に大字を入れるスペースがない場合もあり、この当り前に必要と思っていた大字が、本当は、意味のない不要な物に思えて来ました。

そこで、知らべて見ると、元々土地を示すもので、大字と小字で示してあったが、現在、小字はすでに廃止してあるので、やはり大字だけあっても意味はない事。また、国は、平成の大合併の時に、大字を廃止して簡素化をはかる事を進めていたようだった。

そうなるなら、新武雄市もチャンスはあったことになる。種市市長は、選挙公約の1つに市内住所を、現在の土地に元づく「地番表示」(富岡1234番地6例)が場所が分かりにくいとして、

御船小の 新児童クラブ建設 課題(武雄小・朝目小)

公共施設の管理計画(アセットマネジメント)では、今後の児童クラブの整備方針は、学校の施設の活用が打ち出されている。

しかし、今度、御船小の2クラブに、新たに3クラブ目の建物がプールサイドに建設される。4千万円程度かかり、市は1/3程度負担。

一方、市内の児童クラブ室の整備は、橋・武内・若木・東川登・西川登小は、体育館のミーティングホール活用で、一定の環境は確保。北方・山内東・山内西は独自設備を持っている。そこで、今後整備が必要なのは、武雄小の、耐震性のない旧武雄保育所跡からの移転。朝目小が、以前新たに作ればよかったのに、郷土館を2部屋に改造したが、やはり手狭になっていて、その2か所の整備が必要!

「住居表示」(博多区1丁目2の3例)に変えることを上げてあった。新市で、この住居表示になっていけば問題は解決していたと思う。しかし、会議が3回開かれたが立ち消えになってしまったと言った。それで、住居表示にもならず、大字も廃止されない最悪の状況。

証明書の コンビニ発行の 決断を

私自身、議会関係以外で市役所に足を運ぶのは、住民票を取るくらい。そう考えると、新庁舎建設より重要と思う所もある。

マイナンバーを利用するために、その新規発行の混乱が収まるまで様子見はしかたないと思う。今回の行革プランにも、コンビニ二交付の提案が上げられている。

また、H29年度、国が、システム加入金を300万から、220万円に下げたり、コンビニに支払う手数料を、一通123円が、115円になるよう補助をして、普及をはかろうとしている。

一方、鳥栖・佐賀・小城市など県東部では、すでに実施している。また、新庁舎への統合話して、証明書発行関係で支所を残すとの話もあるが、反対にコンビニ発行をして、その分の金を旧町の公園整備等に使った方が住民の為に良いと思うのだが...